

令和7年度 第2回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年5月23日（金）9時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・今年度の村事業はマイクログリッド構築事業と、生坂ダムの自主放流水を活用して行う小水力発電事業を主に進めている。（株）いくさかてらすの電気小売事業の登録が経産省から下り、6月から小売りを始める予定としている。まずは役場、道の駅いくさかの郷などの公共施設から始め、村から（株）いくさかてらすに電気料を支払う形になる。また、民間事業所の信陽なども太陽光パネルと蓄電池が設置されているので契約を進め、小売りをすることによって（株）いくさかてらすは収入を得て経営を順調にしていく流れである。その資金を運用して設備のための借入れやその返済も必要になるので、財政のシミュレーションに沿って資金運用をしていきたい。
- ・マイクログリッドと小水力は中部地方環境事務所と調整をしながら進めており、（株）エコロミの小峯社長と環境本省に行って要望もする予定である。当村は太陽光発電のほかに再生可能エネルギーの発電は小水力しかなく、環境省にはその実情をしっかり話し、調整をしたいと考えている。
- ・本日の会議は、昨年度のフォローアップとマイクログリッド事業の道路工事着手について、（株）いくさかてらすの電気事業関係の進捗状況について、など説明をする予定である。

【協議事項】

○脱炭素先行地域事業 令和6年度フォローアップについて

- ・令和6年度における再エネ設備や省エネ機器の導入効果や、電力需要に対する自給率の達成状況（民生部門のCO₂排出削減量実質ゼロに向けた達成率は13%）を、需要家数・需要量・再エネ等の供給量・省エネ等による電力削減量・CO₂排出削減量などの数値を基に説明。この実績は4月に環境省へ提出しており、5月30日に環境省担当者との事務ヒアリングを実施する予定。さらに、秋頃には中間評価があり進捗や効果、地方自治体と国の政策目的の一致などを定量的に検証する予定。評価結果により、事業継続の条件（計画通り継

続・一部見直し・事業の縮小) が判断されることを説明。

- ・脱炭素先行地域事業として令和５年度から１０年度まで６年間の計画がある中で、各年度の進捗確認とともに、中間年度にあたる令和７年度には中間評価があることを補足。
- ・他の自治体との実績比較により、生坂村の達成率１３％は一概に低いとは判断せず、今後の取り組み進捗で改善を期待するという意見があった。
- ・共通 KPI の金額に CO2 排出削減量はどのような数字として変換されているか質問があり、KPI の金額は削減された電力量をもとに計算していて、その電力量から CO2 の削減量が導かれているため、電力消費に係る CO2 削減量が多ければ KPI の金額も上がるという考え方になると説明。
- ・達成率の計算に CO2 削減量は考慮されているか質問があり、達成率も削減された電力量をもとに計算しており、その電力量は CO2 削減量に換算できるため、電力消費に係る CO2 削減量は考慮されていることになる」と説明。

○令和７年度自営線マイクログリッド 道路工事の予定について

- ・県道工事の区間は生坂ダム付近からバスセンターまでの約 1500m で、自営線の区間としてはやまなみ荘までの延長。県道区間は道路を掘削し、自営線や電力管路を地中に埋設する。６月着工を予定していたが、資材納期の影響で夏以降に延期の見込みであると説明。
- ・生坂ダムからバスセンターへ向かう車線側の掘削工事に伴い、片側交互通行を実施するため、地域行事（ぶどうの最盛期・赤とんぼフェスティバル・マラソン大会等）との工事期間・区間の調整が必要であると説明。また、役場周辺で、ルート変更案があり調査中であると説明。
- ・工事は一日に何メートルくらい進む予定か質問があり、実際に着手（掘削）しないと分からないところもあるが、１日 10～20 メートル程度と考えていると説明。
- ・県道沿いにあるバス停への支障について質問があり、詳細な調整は工事が始まったなかでもその都度話をして了解を得ていく形を考えていると説明。

○(株)いくさかてらす 電気事業関係の進捗状況について

- ・ 5月15日から中部電力パワーグリッドへの系統連系申請を開始、小売電気事業者の切り替え作業は5月30日以降、役場や道の駅その他の公共施設について実施する予定。切り替え後、各施設から発電・消費状況を毎日午前8時半と11時に提出し、電力需給管理業務を実施することになる。また公民館など7～8軒の施設については系統連系申請が進んでおり、今後は詰所や一般家庭も進めていく予定であると説明があった。

○その他

- ・ 各施設（公共施設・デイサービスセンター・農集排処理施設・一般住宅）の太陽光パネル及び蓄電池設置について、工程表に沿い4月から5月の実績と6月以降に計画されている状況の説明があった。
- ・ 中村団地におけるパネル設置のための施工調査、及び系統連系申請のための資料作成や見積調整を進める予定。また南部交流センターについても現況の測量結果や老朽化の状況に伴う数量調整、塗装再施工の時期との調整など検討の必要があると説明があった。